

こども園のアジサイが綺麗に咲き、梅雨の気配が感じられる頃となりました。子どもたちは、季節の製作をしながら梅雨の時期の自然に親しんだり、じめじめとした暑さの中、水を使った砂遊びをして心地よさを感じたりしています。そこで、最近の遊びの様子をご紹介します。

身近な生き物の製作

園庭の隅っこでうずくまっている子どもたち。「何をしているの?」と聞くと「ダンゴムシ探し!」と嬉しそうに答えてくれました。保育室に連れてきたダンゴムシを触ってみたい、登園時にダンゴムシを見つけてきて見せてくれたりするなど、身近な生き物に興味津々な様子の子と「ダンゴムシ」を作りました。体の模様をクレヨンで自分なりに描き、「チョコキ、チョコキ、チョコキ」と足を切っていきます。そして切った足を、のりを使って一本一本、体に貼り付けていくと、かわいらしい「ダンゴムシ」のできあがりです。作ったダンゴムシで遊んだり、2匹目、3匹目を作ったりする姿が見られ、生活の中で身近な生き物に触れてきたことが、この製作を楽しむ姿につながったようです。そして、繰り返し楽しむことが、ハサミの切り方や、のりのぬり方などの技能面での育ちにもつながっています。



水を使った砂遊び

天気の良い日には、裸足になり、砂場で水を使って遊ぶこともあります。掘った穴に水を入れると水が砂の中に染み込んでなくなることを不思議に思ったり、水と砂を手で混ぜて感触を楽しんだり、手や足で水や砂に触れて心地よさを感じたりする姿が見られます。開放感を感じながら、様々な感触の面白さを存分に味わえるようにしたいと思っています。



冷たい!
気持ち良い〜!
もっと水を入れよう!

川を作って、
水を流すぞ!



あれ?
流した水がなくなった!

【お願い】

プール期間中(6/21~9/8)は、汗をかき量も多いため、1号認定の方も、毎日着替えを袋に入れて持ってきてください(下着、ズボン、Tシャツ、靴下)。子どもたちが自分で出し入れをし、水遊び後に新しい服に着替えます。着替えを入れてきた袋に脱いだ服を入れて持ち帰ります。

水遊びや水を使った砂遊びをすることが増えるため、濡れたり汚れたりしたものを入れるビニール袋を着替え袋の中に多めに用意してください。なお、着替えや袋、ビニール袋には必ず記名をしてください。

生活習慣のポイント ~着替え~

汗をかいたり水遊びをしたりし、着替えをする機会が多くなる季節です。濡れたり汚れたりしたときには「気持ちが悪いな」と、子どもなりに必要感をもって着替えられるようにしていきたいと思えます。まずは自分で脱ぐ、自分で着る、脱いだ服は畳むということに加え、園では脱いだらすぐに新しい服を着る(脱ぐ前に着替えを準備しておく)ということも指導をしています。これは、必要以上に自分の体を人に見られないようにすること、自分の体を大切にすることにも年齢に応じて知らせていきたいと考えているためです。また、園では立って着替えることにも挑戦しています。ご家庭でも、着替えるときのお子さんの様子を見て、ズボンやパンツを「立って履いてみよう!」と声を掛けてあげてください。

もうすぐ七夕です

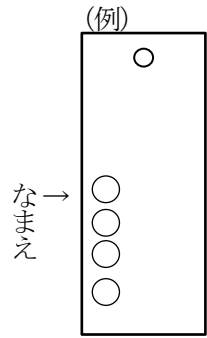
7月7日は、七夕です。園でも、子どもたちと一緒にいろいろな七夕飾りや願い事を書く短冊を作って、大きな笹にみんなで飾りたいと思います。

6月23日(金)に短冊を、一人2枚持ち帰ります。

1枚はお子さんの願い事を、もう1枚にはご家族みなさんの願い事をひらがなで書き、6月28日(水)までに園にお持ちください。

どんな願い事にするか、お子さんとぜひ話をしてみてください。

(七夕の願い事は、ほしい物ではなく、将来の夢や目標などを書けるとよいですね)



ほし組保育室、にじ組保育室前の廊下に各学級の笹を飾ります。
7月4日(火)、5日(水)の降園時に親子で短冊を飾ってください。

夏に気を付けたい病気

プール熱 (咽頭結膜熱)

プールに入れる条件・注意点
主要症状が消えてから、2日を経過するまでは出席停止。



対処法

- タオルの共用は避け、感染者の使ったタオルなどは、熱湯消毒した後洗濯する。
- 水分補給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与える。

ヘルパンギーナ

プールに入れる条件・注意点
熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であればプールはOK。



対処法

- のどの痛みが強いため、熱い物や冷たすぎる物、酸味のある物や塩味のきつい物など刺激の強い物は避ける。
- 痛みが激しいときは、かまずに飲み込める食べ物にする。
- しっかりと水分補給をする。

はやり目 (流行性角結膜炎)

プールに入れる条件・注意点
結膜炎の症状が消失し、医師が周囲への感染がなくなったと判断するまでは出席停止。



対処法

- 目を触らせないように注意し、せっけんですっきり手を洗わせる。
- 目に触れる物の共用は避け、感染者が触った物は、せっけんで洗ったり、消毒したりする。

手足口病

プールに入れる条件・注意点
熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であればプールはOK。



対処法

- 薄味で口当たりのよい食べ物を与える。
- 食後はぬるめのお茶を飲ませて、口の中をきれいにする。
- しっかりと水分補給をする。

とびひ (伝染性膿痂疹)

主な症状

- * 湿疹や虫刺されのあとをかくことで、米粒大の透明な水疱ができ、しだいにうみを持って、かゆくなる。
- * 水疱の膜が破れると、中の菌を含んだ液が飛び散り広がる。

対処法

- かかさぶたができていて、皮膚が乾燥しているか、汁が出ている部分をガーゼなどで覆うことができれば、登園可能。
- つめは短く切る。
- 感染者とタオルなどの共用はやめる。
- かかさぶたができるまでプールには入れない。
- 水遊びの後は、シャワー洗浄や抗生剤塗布の配慮が必要。

水いぼ (伝染性軟属腫)

主な症状

- * 1~2mm程度のプツプツができる(真ん中にへこみがあり、硬くてつやがあり、皮膚と同色)。しばらくすると3~4mmになる。
- * 痛みはないがかゆみを伴うこともある。
- * わきの下、わき腹、足のつけ根など、皮膚と皮膚がこすれ合うところによくでき、体中に広がる。

対処法

- ほうっておくと体中に広がるので、ひとつでも水いぼを見つけたら、医師の診断を受ける。
- プールでの感染はないが、つぶれてしまっているときは、プールは避ける。
- タオルやビート板などを介しての感染があるので、共用は避け、プールの後は体をよく洗い流す。

夏に流行しやすい主な感染症についてまとめました。プールを介して感染する病気もあります。登園にはお医者さんの許可が必要です。



おたんじょうびおめでとう